

長島新聞

逗子市議会報告 Vol. 101

オフィシャルサイトはこちら
<https://www.nagashima-kazuyoshi.com/>

E-mailはこちら
nagashima_kazuyoshi@yahoo.co.jp

発行責任者：長島一由 逗子市新宿1-4-30
電話：046-890-6713



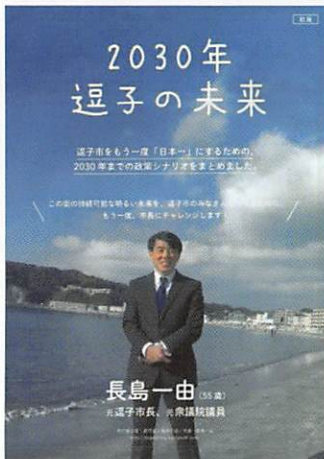
長島 一由

(ながしま かずよし)

逗子市議会議員 精神保健福祉士
逗子市長(3期) 衆議院議員(1期)
フジテレビ報道局政経部記者
リクルートWorks誌編集長等を歴任。
早大卒、東大院、東京藝大院修了
博士(学術・横浜国大)
55歳 A型 家族：妻、長女、次女

逗子市長選挙日程 12月11日に正式決定

【令和5年度予算要望 逗子の市長がやるべきこと】



ムダ全廃



この政策集はQRコード
又は長島一由サイトで
ご覧になることができます。

給食費無料

国保値下げ

防災・治安



POLICY

1

予算・市政要望書 18の要求項目

12月25日に市長が交代した場合、速やかに政策転換が可能となるよう、市議会議員としてあらかじめ、18の要求項目(下記抜粋)を逗子市に提案。詳しくは長島一由ブログで。

(1) 小学校給食(1億3000万円)、中学校給食(7120万円)の財源を確保し、中学校から小学校へと段階的、かつ可及的速やかに小中学校の給食無償化を実施すること。

(5) 国民健康保険料については、年収500万円以下かつ特定健診受診者には、均等割分を5割値下げすること。これにより、検診受診率を向上させ、疾病を未然に防ぎ、総医療費の抑制(=全てのひとの国保料の上げ幅を抑制)及び市民の健康増進を図ること。

(7) 津波想定の変更に伴う建築物の高さ制限について、住民投票も視野に入れた逗子市まちづくり条例の改正検討を早期に進めること。

【逗子市 ポツンと一軒家を探せ!?!】



▲上写真：
北海道羅臼岳
1660m山頂で



◀左写真：
沼間、桜山、
小坪の谷戸に
多い、バイク
アプローチが
できない坂道

まじかー、ここ登ってゆくのかあ。
郵便配達バイクが通れない徒歩でしかア
プローチできない場所が逗子にはある。

登ってゆく前に、そこに本当に家があるの
か。地図で確認したり、近隣のお宅に「こ
の上に家がありますか?ひと住んでいます
か?」と尋ねてゆく場合もある。

しかし、あてがないまま延々と登ったら廃
屋で誰も住んでいない。逆にとちらかっ
て、草もぼうぼうだから誰も住んでいな
いと思ったら、窓が少しだけ空いていて人が
住んでいるだろうことを確認。

人気番組、ポツンと一軒家みたいに、逗子
でもこんな森の中に、家があり、ひとが住
んでいることに驚かされる。



この夏は、北海道の羅臼岳に登山した。
そのときの体力を活かして、自らの政策をま
とめたパンフレットを未配地域にくまなく1軒
1軒ポスティングした。

本人が配る意味があるのかといえ、この時
期、網戸越しや庭先に出ている方も多。現
職の市議だからこそ、ご挨拶して市民の方
から直接、陳情や要望を受けることができる。

配布したエリアには、その後、各ポストに冊
子が入っていることを車でアナウンスして回
る。現行法制上、組織や団体(カルト教団含
め)に余計な借りをつくらず、政治活動に極
力お金をかけない手法だ。

すべてはしがらみを作らず、ひろく市民の皆
様の声をダイレクトに、市政に反映するた
めの取り組みである。

【事例1】（女性：OKストア前）

Q.ご主人が高熱。逗葉医療保健センターで発熱外来診療拒否。その後、肺炎と診断。9か月のお子さんをお持ちの母からも同様の苦情。なんで逗子市民が税金を払っているのに熱があると診てもらえないのか。休みの日に熱がある時に診てもらえるのが地域医療センターの役割ではないか。

【事例2】（男性：Eメール 久木4丁目在住M・Tさん）

Q.上の子が認可外保育園に入ると、下の子が認可保育園に入っても半額にならない。その差額はトータルで約240万円になる。何とかならないか？
 ⇒A.18の要求項目（表面）の（6）に「認可外保育との差額の助成制度を設けること（まず、やむなく認可外保育園に行かれた第一子への差額助成として、対象者20名、年額273万円の予算措置を講じること）を加筆提出。

【事例3】（男性：OKストア前 小坪5丁目在住T・Kさん）

Q.逗子の小坪にある望洋邸というマンションの理事長から、マンション入口付近の国道134号線中央分離帯のポール撤去を強く望む。何年前に理事会として、ポールの撤去を逗子警察署に相談したが、安全面などを大義にけんもほろろの対応を受けたが何とかして欲しい。

【事例4】（男性：電話 桜山4丁目在住Kさん）

Q.逗子駅前の交番が撤去されるという報道があった。駅舎の改修工事に伴うというのであれば撤去の開始時期を遅らせることはできないのか。またいつになったら再開されるのかははっきりしないのはおかしい。最近、米兵の事件など治安が悪いし、雨天時の交通整理も、交番がなくてもやってもらえるのか不安だ。

【ツイッター悪質投稿等3名 告訴状提出】

8月30日にツイッター2件の悪質投稿を、9月1日には悪質な虚偽記載文書に関し、逗子警察署に告訴状を提出いたしました。選挙違反をしているという断定記述や、議長や議会事務局から注意を受けたのに活動をやめないなどという虚偽記載です。中には、警察に訴えてから非を認め、謝罪してきているケースもあります。市議会議員の信用を貶めようとする行為は前科がつき会社を解雇される可能性もある重罪です。利権政治に正義をかざすと悪質な抵抗や嫌がらせも続くと思いますが、屈しません。皆様のご理解、ご協力、ご支援、引き続きどうぞよろしくお願いたします。

市民からの怒りの告発 **発熱外来拒否**



A.左記、市民からの苦情を受け、発熱外来の診療拒否は医師法に抵触するのではないかと逗子市、神奈川県に交渉していたところ、自分も39.6度の高熱。センターでは診てもらえないため横須賀の救急センターに行くが3時間以上待ちという。翌日、近くの医院でコロナ陽性判定。実感値としても市と折衝することになったが、市は1958万6000円で7月18日から9月末まで発熱外来を再開。今後も適切な運用を監視してゆく。

警察の英断 **住人は魔の迂回から解放**

A.中央分離帯にポールがあることにより、例えば、鎌倉方面から自宅に戻るとき右折できず、逗子の県営駐車場でのUターンを強いられていた。渋滞時はなんと30分以上のロス。建設時から10年も住民は我慢していた。開発時の協定書（今は存在せず）が撤去を妨げていたが過去の経緯や周辺との公平性を説明するとともに、安全性の担保を協議。神奈川県、逗子警察も了解し、理事長陳情から90日後（8月8日）に横須賀土木事務所が撤去。



9月26日逗子駅前交番休止へ **再開は？**



A.県警本部地域総務課に照会したところ、工事がすぐに始まるため、休止開始時期をずらすことはできない。また、再開時期はJR側工事の進捗によるが1年後を目途とする。休止期間中は、アクティブ交番（オーニング付ミニパト）を活用してカバーするという。



東西冷戦を終結させ、ノーベル平和賞を受賞した旧ソ連ゴルバチョフ元大統領が亡くなった。今から、20年ほど前だったがゴルバチョフ氏に都内のホテルで面談する機会をいただいた。なぜ、歴史上の人物との面談に当時の逗子市長として招かれたのか今では全く記憶にないが同じ早稲田の教育学部出身の下村博文代議士らも同席した。ゴルバチョフ氏に私が、改革のことは何かと尋ねたところ、「（情報公開）だ」と応えていた。情報統制の下、ウクライナを侵攻している今のロシアをゴルバチョフ氏はどう受け止めていたのだろうか。最後に握手をして別れ際には「グッドラック」と英語で声をかけていただいた。今は、その言葉を氏にそのままお返しして、天国でのご冥福をお祈りしたい。